

# 跡見学園女子大学 学報



(第31回文京区朝顔・ほおずき市にて)

## 跡

見学園女子大学の学内外における様々な活動、文京キャンパスにおいて活発さを増す地域貢献・地域連携活動、一層充実する国際交流活動、きめ細かな就職支援、夢の実現に向けた先輩からのメッセージ。そして学生の活動にあわせ、教員研究室の一端をご紹介します。

「実践力を備えた教養人・品性ある社会人・自律し自立した女性」教育を目指した学内外の活動をどうぞご覧下さい。

## 記事内容

- 地域で活動！ ..... (2)
- 国際交流活動の紹介(夏期海外語学研修のご報告) ..... (3)
- 跡見花躰記念奨学生表彰 ..... (4)
- 第49回紫祭「千紫万紅」 ○学生会情報 ○CLUB NOW ..... (5)
- 産学官連携活動！ ○後輩へのメッセージ ..... (6)
- 「ATOMI就活サポーターズ」の活動と「保護者向けセミナー」 ..... (7)
- 「ATOMIインターンシップ」実施報告 ○平成28年度アカデミック・インターンシップの実施報告
- ゼミ紹介 ..... (8)
- 平成28年度新規採択「科学研究費補助金にかかる研究内容の概要」 ○研究室訪問 ○学術情報！ ..... (9)
- 長野原学研究会へのご招待 ○心理教育相談所の紹介& ATOMIさくらルーム移転のお知らせ
- 跡見ギャラリーの休館のお知らせ！ ○名誉教授のご紹介 ..... (10)
- 平成29年度 大学入試日程 ..... (11)
- 資料館コレクション ○文京キャンパス 教室プロジェクターリニューアルのお知らせ ○行事予定
- 「今」女子大生が読みたい本とは！？ ○編集後記 ..... (12)



## 地域で活動!

地域に根ざした跡見生の活動をご紹介します。



### 菊坂跡見塾（旧伊勢屋質店）にて 浴衣着付け教室

7月23日（土）菊坂跡見塾（旧伊勢屋質店）にて、文京区高齢者クラブ会員の講師による本学学生対象ゆかた着付け教室が実施されました。着付けだけでなく、浴衣についての知識やたたみ方、保管の仕方、着用時の所作なども教えていただき、日本の文化に興味を持ってもらうことも目的としています。また着付けというツールを使って学生と高齢者との世代間交流を深めることもでき、講師の方々からは「学生さんたちと過ごす時間がとても楽しかった」「また教えてあげたい!」という声が聞かれました。

会場となったのは、学園が平成27年に取得・保存している菊坂跡見塾（旧伊勢屋質店）です。明治時代の商家の面影を色濃く残す風情ある建物の1階奥座敷を使用し、和やかな雰囲気の中実施されました。菊坂跡見塾は土日の一般公開のみならず、学生たちの教育に資する施設として、このような地域連携関連行事のほか、ゼミなど授業時の教室としても活用されています。

この日は文京区朝顔ほおずき市も開催されており、着付け



教室後、浴衣姿の学生たちが傳法院で行われたオープニング式典に出席し、会場に花を添えました。

### 高齢者とのふれあいカフェ

7月2日（土）文京区目白台交流館にて高齢者との「ふれあいカフェ」が実施されました。

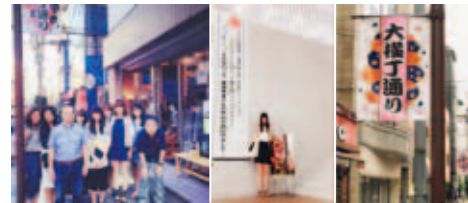
「ふれあいカフェ」は、心理教育相談所の活動のうち、臨床心理学的地域サービスの一環として臨床心理学科宮岡教授の監修のもと実施するものです。地域の高齢者が心身ともに健康で幸せに過ごすための予防的プログラムです。また、地域の高齢者と学生が一緒にお茶を飲みながら、簡単なゲームやワークを行い、おしゃべりをして楽しく過ごすことで、世代間交流を深めることも目的としています。

今回も学生によるレクリエーション（なぞなぞ出題、俳句作成ゲーム）が盛り上がり、参加者に大変好評でした。参加者だけでなく学生からも「参加してとても楽しかった」との感想が多く聞かれ、中には「離れて暮らす祖父母を思い出し、もっと大事にしてあげたいと思った」という学生もいました。急速に少子高齢化が進む中、子や孫と同居をする世帯は減っており、学生にとっても高齢者と過ごす時間は、高齢者に対する理解を深め、社会人としての在り方を学ぶための教養実践として非常に有効であると思われる。



### 学生の提案したデザインフラッグが 商店街を賑やかに飾る!

コミュニケーション文化学科、田中ゼミでは毎年学生たちが自ら企画した研究活動を活発に展開しています。今年度は地元文京区の商店街と一緒に「商店街おこし」をしています。文京区本郷大横丁通りとの作業では、商店街をもっと賑やかな通りにしようと、「デザインフラッグ（目印となるデザイン旗）」作成に取り組みました。まずゼミ生たちは商店街に出かけて商店主たちと交流を重ね、若者が減って元気が無いこと、昔の賑わいや明るさを取り戻したいこと、人々が集まるシンボルがほしいこと、などの“心情”を把握しました。そしてデザインコンセプトを「明るさ」「元気」「華やかさ」の3点とし、各自がこれに沿ってデザイン案を作りました。集まった作品群を文京区住環境課、大横丁通り商店街幹部、景観デザイナーの審査員が慎重に審査し、ゼミ生の東田季来さん（3年）の作品が最優秀作品に選ばれました。完成したデザインフラッグは、商店街の32本全ての街路灯を飾っています。石田商店街会長様からも「女子大学生らしい独創的で華やかな作品で商店街が明るくなった」と感謝の言葉を頂きました。秋には、また別の商店街と共同で「スタンプラリー」を企画しています。田中ゼミ生は、これから本学の地元の方々と一緒に地域おこしの活動に取り組んでいきます。



【左】石田大横丁通り商店街会長(中央左の男性)と田中ゼミ生たち  
【中】フラッグデザインと作者の東田季来さん  
【右】商店街に飾られたデザインフラッグ

### 防災フェスタ

8月21日（日）文京区「防災フェスタ」が、教育の森公園（茗荷谷駅徒歩2分）で開催されました。住民を主体とする一斉避難（危険回避）訓練を実施。観覧型や体験型の訓練を通して、区民の防災意識の啓発と防災行動力の向上を図ることを目的としたものです。

文京区とは災害時における母子救護所の提供に関する協定（平成24年9月）を締結しています。展示ブースでは本学と東京都助産師会、文京区が連携して毎年9月に行っている母子避難所訓練の様子をパネル展示しました。防災・減災対策の先駆的な取り組みとしても、広く注目されている訓練です。フェスタには、3学部から10名のボランティア学生が参加しました。展示パネルの説明や防災備蓄サンプル品の提供など、猛暑の中、額に汗して一所懸命取り組む姿がとても印象的で



した。全体で1881名(主催者発表)の来場者のうち、600名あまりの方が本学ブースにお越しいただきました。

# 国際交流活動の紹介

## 平成28年度夏期海外研修終了報告

全学共通科目運営センター長 佐藤富雄

今年度の夏期海外研修は、英国・国立スターリング大学(7/31～8/30、18名)、台湾・国立政治大学(7/31～8/22、3名)、フランス・西部カトリック大学(8/1～8/30、5名)にて実施され、いずれの研修も無事に終了したことを報告します。各研修とも、きめ細かな語学(英語/中国語/フランス語)の授業はもちろんのこと、現地の文化や歴史に触れることができる課外活動も用意され、充実したプログラムをもって実施されました。また、研修先大学のサポートメンバー、世界各国から参加した学生との活発な交流は、実践的な語学力のみならず豊かな国際感覚を身に付ける機会となり、参加した学生にとって満足度の高い研修となったはずです。今回の研修の経験が、今後の学生生活や進路決定の際に、学生の助けとなることを期待しています。

本学は、今後もより充実した海外研修を展開し、国際社会での活躍を目指す学生を積極的にサポートして参ります。

### スターリング大学(イギリス)での研修を終えて

文学部現代文化表現学科 3年 船田彩乃

この研修が始まるまでは不安と期待でいっぱいでした。ですが、研修が終わる頃には毎日がとても楽しく「終わってほしくない」という気持ちになっていました。授業は日本語を話せない環境で不安だったのですが日が経つにつれ、その環境が当たり前になり不安が楽しさに変わってきました。授業後も他大学の友達とジムで身体を動かしたり、買い物に行ったり、同じフラットの友達と朝、夜とご飯を協力して作ったり、スペイン人の友達と異文化交流をしたりと毎日が充実していました。この短期研修で私は素敵な友達に出会い、幸せな時を過ごすことができたこと、みんなにとっても感謝しています。Gracias de Corazón! (Thank you very much!)



### 国立政治大学(台湾)での研修を終えて

マネジメント学部マネジメント学科 3年 三輪千春

私は1,2年次に第二外国語として中国語を履修していました。3年生になり、もっと中国語を勉強したいと思い研修に参加しました。政治大学での授業は日常生活で活用できるような、より実践的な内容でとても満足できるものでした。また、平日の授業後に行われていた午後のアクティビティではお茶作りや書道、中国結び、粘土人形制作などを通して異文化体験をする事も出来ました。週末に街へ遊びに行ったのもいい思い出です。今回の研修を通して一番得られたものは積極性だと思います。街中で困ったことに遭遇した際、みんなで協力して解決したり、現地の人に直接尋ねたりと日本にいる時以上に自ら進んで行動できるようになり、成長を実感できました。最後に今回の研修に携わりサポートして頂いた多くの方々へ心より感謝申し上げます。



### スターリング大学での研修(高校生対象)を終えて

事務局国際交流課長 大坂晴美

今年度より、高校生を対象とした英国国立スターリング大学の夏期研修が始まりました。本研修は7/31～8/23の3週間にかけて実施され、跡見学園高校の14名の生徒が参加しました。本研修は高校生対象とはなっていますが、プログラムの構成は大学生のものと大きな違いはありません。語学の授業や課外活動の説明は全て英語で行われ、生活面(食事など)も高校生自身で管理をしました。研修当初は親元を離れての不慣れな環境に戸惑う様子も見られましたが、徐々に積極的に活動する姿勢に変わっていき、研修の最後には名残惜しさから涙する場面も見られました。

研修中は大学生が高校生のお手本となって活動しており、相互に良い影響を与えていたと感じます。今後も学園全体の国際化を目指し、取り組んで参ります。



### 西部カトリック大学(フランス)での研修を終えて

文学部臨床心理学科 4年 設楽愛実

フランスでの生活は何もかもが初めての連続で、勝手が分からず戸惑うこともありましたが、放課後にみんなで行ったオシャレなカフェや美術館、大学近くのパン屋さんで買ったバターたっぷりの焼きたてのクロワッサン、アンジェ城から見た街並みなど、大変なことよりももっともって沢山の素敵なものに巡り合うことが出来ました。

大学での授業は不安もありました。しかし、初めは一つの単語でしか答えられなかったことでも、徐々に話せる単語が増え、違う国の友達と会話ができるようになったことで自信に繋がりと、フランス語を学ぶことがさらに楽しくなっていました。

今回の研修で得た発見や学びを今後社会で活かしてゆきたいです。



## 跡見花蹊記念奨学生表彰

平成28年6月17日(新座キャンパス)および平成28年6月21日(文京キャンパス)に学業奨励賞として跡見花蹊記念奨学生84名が表彰されました。

奨学生は前年度の学業成績上位者から選考され、表彰状と奨学金(授業料の1学期分相当額)が支給されました。

### 学部2年生

- 文学部人文学科  
佐々木 成美      野澤 涼子      野中 麻貴  
細谷 みいる      村上 枝里      渡部 亜熙
- 文学部現代文化表現学科  
大上 久美子      柏木 はるか      久能木 友子
- 文学部コミュニケーション文化学科  
大久保 穂香      野口 晴代      狩野 早紀
- 文学部臨床心理学科  
會澤 奏海      青木 咲樹      井上 寛子  
花里 美咲
- マネジメント学部マネジメント学科  
井上 舞      菅野 紗央      菊池 春花  
齋藤 梨沙      橋本 明香里
- マネジメント学部生活環境マネジメント学科  
越智 あさの      邨山 千晴
- 観光コミュニティ学部観光デザイン学科  
井本 芽衣      白井 麻莉      竹井 七菜子  
竹澤 有希
- 観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科  
室内 直美

### 学部4年生

- 文学部人文学科  
伊藤 優花      今泉 朋子      萱野 千晴  
黒沢 奈央      小西 理恵子
- 文学部現代文化表現学科  
内田 万美子      菅原 杏実      柳下 裕美
- 文学部コミュニケーション文化学科  
泉 沙弥      加賀 萌子      松尾 かおり
- 文学部臨床心理学科  
牛久保 友理      及川 玲奈      釜野井 春香  
島崎 早也佳      富永 紗央      前嶋 亜依
- マネジメント学部マネジメント学科  
家出 美幸      榮森 玲菜      大畑 佑依  
久田 春菜      瀬尾 香純      田中 理紗  
唐司 千歌      森田 美咲
- マネジメント学部観光マネジメント学科  
大久保 美咲      佐々山 莉歩      橋本 真美  
松村 美貴
- マネジメント学部生活環境マネジメント学科  
小泉 里奈      佐藤 花奈

### 学部3年生

- 文学部人文学科  
光野 奈美      神山 静花      小山 奈珠  
吉田 綾音      石垣 美沙
- 文学部現代文化表現学科  
國田 真由      早崎 莉央
- 文学部コミュニケーション文化学科  
金塚 茉希      木村 夢乃
- 文学部臨床心理学科  
大角 梓      大塚 理沙      樺澤 麻美
- マネジメント学部マネジメント学科  
伊藤 杏奈      佐藤 佳奈      高橋 有佳里  
武山 晃子      飛田 紗希      三浦 あすか  
高橋 真由
- マネジメント学部観光マネジメント学科  
片岡 奈美      内藤 実咲
- マネジメント学部生活環境マネジメント学科  
岡田 彩花

### 大学院2年生

- 人文科学研究科日本文化専攻  
村田 美優
- 人文科学研究科臨床心理学専攻  
今井 美穂
- マネジメント研究科マネジメント専攻  
XIAO QIAN

## 跡見校友会一紫会大学院奨学生表彰

平成28年6月24日に学業奨励賞として3名の跡見校友会一紫会大学院奨学生が表彰されました。奨学生は前年度の学業成績上位者の中から決定し、表彰状と奨学金(授業料の一学期分の二分の一相当額)が支給されました。

### 大学院2年生

- 人文科学研究科臨床心理学専攻  
齋藤 悠里
- 人文科学研究科臨床心理学専攻  
下村 麻衣
- 人文科学研究科臨床心理学専攻  
藤田 七海





ごきげんよう！今年のテーマは『千紫万紅(せんしばんこう)』

跡見学園女子大学のスクールカラーは紫色です。これは開学当時に、時の昭憲皇太后の「跡見女学校にては紫袴を用いよ。紫と緋とは同位にて、女生徒にふさわしき色合いなれば」とのご沙汰を得て着用した紫色の袴から始まりました。紫の袴に象徴される跡見女学校の洗練されたスマートさは当時世の注目を集めたそうです。

今年の紫祭のテーマ「千紫万紅」は、「色とりどりの花が咲き乱れる情景、さまざまの色彩」という意味があります。私たちは一人一人の輝く個性が集まり、一丸となることで、跡見らしい華やかさで注目を集めるような大学祭にしたいという願いを込めています。

今年はフランクフルトやタピオカ、お団子など食品を出店する団体が27団体、写真部や書道部などの展示団体が23団体で例年より多くの団体が参加します！

また、毎年開催されるミスコンや野外ステージで行われる芸能人企画、子供達も参加できるちびっこ企画など見所満載となっています！

紫祭実行委員一同、ご来場をお待ちしております。

## 学生会情報

学生会本部 会長 鹿野 友里菜

ごきげんよう。いよいよ秋学期が始まりました。今回は、6月15日に開催されました学生総会及び学長と語る会についてご報告致します。

学生総会では、平成27年度決算報告、平成28年度予算及び学生会規約改正の審議を行い、すべて承認されました。学長と語る会では、学長先生をはじめ諸先生方にご出席いただき、大学バスのダイヤについて、今年度からの成績評価について等、事前に寄せられた要望や質問に丁寧なご回答をいただきました。ご出席くださいました先生方、ご協力誠にありがとうございました。出席できなかった学生の皆さんは、ぜひ議事録をポータルにてご覧ください。次年度以降もより良い会が開けるよう学生会本部一同努力していきたいと思っております。



## CLUB Now

### 体育会ラクロス部

こんにちは。体育会ラクロス部です。昨年度の私たちの活動について報告させていただきます。第28回関東学生ラクロスリーグ戦では、悲願であった4部リーグから3部リーグへの昇格を果たしました。実は、一昨年度のリーグ戦でもブロックを一位通過し、入れ替え戦まで上り詰めたのですが、惜しくも負けてしまいました。悔しい思いをたくさん経験して、再び手にした入れ替え戦で、今度は勝ち切ることができました。部員の努力だけでは昇格は果たせなかったかもしれません。皆様の応援の力は本当に大きかったです。有難うございました。そして、機会がありましたら、次の試合は是非足を運んで応援に来てください。今後よろしくお願い致します。



## 産学官連携活動！

### 観光産業のプロとともに作るゼミ 現場の実態(ヒヤリング)等の活動紹介

観光コミュニティ学部 観光デザイン学科 教授 磯貝 政弘

観光客集客事業においてマーケティングは重要な仕事です。その理論習得を効果的に進めるために、事例研究は欠かせないと考えています。

今年度は、香港政府観光局とカリフォルニア州観光局のマーケティング担当をゼミに招き、日本マーケットに対するそれぞれの戦略を講義してもらいました。説明後のディスカッションでは、香港やサンフランシスコが学生たちの認識から抜け落ちていることが判明。それぞれの講師を驚かせました。しかし、不都合な事実の発見もマーケティングには重要です。新しいマーケット戦略を策定するための貴重なヒントを持ち帰ってもらえたようです。一方、学生も新しい知識を楽しみながら得られたと思います。

また、今年3月末で廃業した本郷の老舗旅館へ出向き、昭和初期の木造建築を見学しながら都市型旅館の歴史を館主から聴く機会もつくりました。都心に旅館が存在することすら学生には驚きだったようです。観光事業のプロとつくる授業は今後もゼミの柱の一つです。



### 跡見エコキャンパス研究会が埼玉県から 省エネ事業を受託

マネジメント学部長 宮崎 正浩

現代の日本の若者は、格安で流行しているものを購入しすぐに捨ててしまう傾向があり、資源やエネルギーを無駄にしています。このような現状を変えるためには「エシカル」と呼ばれる、環境や社会に配慮する行動を普及する必要があると指摘されています。

跡見エコキャンパス研究会は、このような「エシカル」を普及するための調査事業を企画し、埼玉県の「大学連携普及啓発活性化事業(省エネ・省CO<sub>2</sub>PR事業)」に提案したところ採択され、8月1日(月)に埼玉県との契約書を締結しました(写真)。

本事業では関係企業のインタビューや大学生対象のアンケート調査を実施した上で、12月10日(土)に埼玉県内の環境関連団体が主催する「第7回低炭素まちづくりフォーラムin埼玉」にて県内の大学生が参加するワークショップを開催し、調査結果を踏まえて普及策を討議する予定です。



## 後輩へのメッセージ「学生時代と現代」

文京区福祉部介護保険課介護保険管理係 勤務  
郭 万里さん (2014年3月文学部人文学科卒)

私はいま文京区役所で公務員として働いています。この仕事に就きたい、ここで働きたいと決心したのは大学3年生のときでした。自分のやりたいことや好きなものは何だろうと考え、生まれ育った文京区で働きたい、貢献したいと思ったのがきっかけでした。当時を振り返ると、私はとてもマイペースに進路と向き合っていました。結果、在学中の試験には失敗してしまいました。それでも、ここで働きたいという目標を諦められませんでした。就職試験を続けることは孤独を感じたり、モチベーションを維持するのが大変な時期もありましたが、家族や友人、跡見の先生方の支えがあって乗り越えることができました。念願の仕事に就けたい、学生のときにやりたいことを諦めなくて本当に良かったと思います。根気強く続けたことは必ず結果として自分に返ってきます。いまの仕事は忙しくて難しいこともあります、分からないこともまだまだたくさんありますが、それでも毎日楽しく仕事をしています。皆さんも頑張ってください。

埼玉県公立中学校 勤務  
當山 愛さん (2016年3月文学部人文学科卒)

大学時代は授業や部活動、ボランティア、アルバイトなど様々な経験を通して成長しながら自分の視野を広げることができました。

初めは教員を目指すうえで、自分が教育学部でないことに対してとてもコンプレックスを抱いていました。しかし、跡見には国語を愛する先生が多く、古代文学から近代文学までの日本文学の授業・落語や歌舞伎の伝統芸能の授業など、様々な講義がたくさんあったので、それらを積極的に受けていきました。『生徒に国語を好きになってもらうには、まずは自分自身が国語を好きで、自分が一番楽しんで授業をすることが大切』ということ、跡見の先生方から学びました。今では、教育学部出身の先生方に負けないくらい国語が好きだと思えるようになり、その気持ちが授業をする上での自信に繋がっています。

今年度は1学年の学級担任をさせていただいています。教師の仕事はとても大変ですが、とてもやりがいのあるものです。毎日生徒の笑顔に救われ、生徒の成長に感動させられています。私も彼らと共に日々成長していきたいと思えます。

## ☑ 「ATOMI就活サポーターズ」の活動と「保護者向けセミナー」 ～就職部 就職課～



〈オープンキャンパスでのOGサポーターズによるトークショーの様子〉

「ATOMI就活サポーターズ」は内定を獲得した4年生と社会で活躍しているOGが、在學生(主に就職活動を本格的に始める3年生が中心)をバックアップする制度で、就職課が管理運営しています。サポーターの皆さんは、最も身近な就職活動体験者で在學生の心強い味方です。個人的な先輩がいなくても、情報提供やアドバイスを受けることが可能です。今までの利用者からも「就職活動を行う上で大変参考になった」というサポーターズの活動の中から、今回は「ATOMI就活サポーターズによる面接練習会」と「オープンキャンパスでのOGサポーターズによるトークショー」をご紹介します。

まず、「ATOMI就活サポーターズによる

面接練習会」ですが、これは昨年度秋に初めて開催されました。内定を得た4年生が面接官として3年生の面接練習を行うもので、就職活動の実体験を踏まえた質問や、面接官の評価における視点からのアドバイス等々が盛りだくさんの内容となりました。これから本格的な就職活動時期を迎える3年生にとって、より実践的な面接練習の機会になったのはもちろんのこと、面接官役をこなした4年生自身にとっても、自己の体験を後輩に伝えることや指導に生かすことの難しさを再認識する良い経験になりました。今年度も引き続き開催の予定であり、面接練習会を通じた、先輩・後輩の良い関係が卒業後も生きるとような仕組みにレベルアップできればと考えています。

次の、「オープンキャンパスでのOGサポーターズによるトークショー」は、7月31日(日)文京キャンパスでのオープンキャンパスにおける就職課の特別企画として開催され大盛況に終わることができました。社会人となったOGをお招きし、さらに就職活動を終えた4年生も交え、「跡見での学び」が社会人となった際にどのように生きてくるのかまたは生かされているのか、を本音で語ってもらいました。このトークショーを通じて、オープンキャンパスに来られた高校生やその保護者の皆さんには“跡見で学ぶコト”“跡見の向こうに見えるモノ”を、身を持って感じ取ってもらえたのではないのでしょうか。OGになってなお、在學生のみならず在學生予備軍にまで手を差し伸べてくれる“思い入れ”が跡見の強さだと思います。

以上は、主に学内の学生間並びにOGと在學生の絆を深める為の施策ですが、さらに学生の保護者への働きかけも積極的に行っています。

例年9月に開催している「保護者向けセミナー」がそれで、本格的な就職活動時期を迎える3年生の保護者を対象に、就職部長からの状況報告に加え外部講師による「親としての心構え」をメインテーマにした講演を主な内容にしています。

本年度は講師として、日経BP社・執行役員の麓 幸子氏をお迎えし、「女子就活生の親が今、知っておくべきこと」について熱く語っていただきました。会場を埋めた300名を超える保護者の皆様からは、「就職に悩む娘との会話の具体的な糸口になる良いセミナーであった」とか、「親がどの程度関わるべきなのか参考になった」等々、開催を好意的に捉えてくださる意見が多く寄せられました。就職活動のための準備は大学内だけで身に付くものではなく、日々毎日の生活環境の延長線上にあるものだと考えれば一層、保護者を巻き込んだ家庭内環境を整えていくことが重要になってくると考えています。これからも引き続きセミナー内容の充実に向けてまいりますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。



〈ATOMI就活サポーターズによる面接練習会〉



〈保護者向けセミナーの様子〉

## 「ATOMIインターンシップ」実施報告 ～就職部 就職課～

企業の採用広報・選考時期の度重なる変更や採用手法の多様化等、何かと話題の多い就職活動。なかでもインターンシップへの取組みは、採用する側・される側ともに積極的になってきています。

就職課では、例年8月～9月の夏期休業期間を中心に全3年生と文学部2年生を対象に幅広く募集する形式で「ATOMIインターンシップ」を実施しています。単位認定はないものの、実習形式のバリエーションも豊富なことから例年多くの学生の関心を集めており、本年度も100名を超える学生達が企業及び自治体での実習体験に臨みました。

このインターンシップは、学生達が自身の将来を考える最良の場のひとつであるとの認識のもと、より多くの学生達に幅広く業種・職種を知る機会の提供ができるよう受入先の拡大にも努めており、実習先は47社・4自治体に協力頂けるまでに拡大することができました。今後も、学生達がより納得できる進路選択をできるよう、当プログラムの充実を図って参ります。

## 平成28年度 アカデミック・インターンシップの実施報告 マネジメント学部長 宮崎 正浩

マネジメント学部では、2年次の必修科目として夏休み期間中の2週間、全員が企業や地方自治体などで就業体験を行う「アカデミック・インターンシップ」を実施しています。この目的は、大学の教室でのマネジメントに関する理論の学習を基に、実際の社会での就業体験を経験することによって職業人としての基本を体得することです。

学部創設時から実施しているこのインターンシップは本年度で14年目を迎えました。約270名の学生が例年通り事前研修として社会人マナー講座を受けた後、8月から順次インターンシップに参加しました。今年度の派遣先は合計121団体です。

秋学期には、学生が一步成長した姿で大学に戻ってくることを楽しみにしています。



## ゼミ紹介

### 副島ゼミ(文学部現代文化表現学科)

文学部現代文化表現学科 教授 副島 善道

この紹介文を書いている7月21日は、開講しているゼミの春学期最後の一日。3年と4年の二年連続で履修するゼミの学年間交流はチャンスが少ないので、今日は昼休みに「3・4年生合同でお昼会」を開催しています。副島ゼミは「映画研究」を中心に開講するので、集まる学生さん(3年生16名、4年生21名)の多くは映画ファン、その話題もあればまもなく始まる学期末テストの情報交換もある様子です。

芸術学にかかわる研究が個人の作業に終始しがちなのは、せっかくのゼミにはもったいない、学生さんは社会的にも洗練されてほしいと、副島ゼミでは夏休みの企業インターンシップ、大学開催のオープンキャンパス行事への参加など、「外へ」の発信も奨励します。そのかいあって、初めて顔を合わせているのに、卒業研究の進め方、就活の実際などの話題でテーブルは大いに盛り上がっています。

いつもの授業より学生さんも生き生き楽しそう、指導教員としては少し複雑な心境ですが、これが副島ゼミの学びの成果です。



### 村田ゼミ(生活環境マネジメント学演習)

マネジメント学部生活環境マネジメント学科 教授 村田 あが

「都市の環境と文化」ゼミです。都市の環境と文化について、ゼミ生各自の視点により考察し、問題を発見し、解決策を提案できるようになることを目標としています。国内外の都市、建築、インテリア、居住文化などについて幅広く学びます。学生は、各自の研究テーマの他に、「私と環境」、「我が家のインテリアデコレーション」、「私の旅プラン」などの課題を通して、まとめる力や発表する力を身につけます。

平成22年度教育課程では、3、4年生が同じ時間に同じ教室でゼミ活動をしますので、全員が発表を聞き、相互評価をします。4年生の卒論中間発表、最終発表の時には、3年生も特に真剣に聞き、質疑応答も活発に行われるなど、本気で学ぶ姿勢と熱意を感じます。

卒論のテーマは幅広く、「東京の地下街」、「京島と番町の路地園芸」、「屋上緑化、壁面緑化」、「野鳥のいる公園」、「美術館の庭と居心地」、「市民農園とまちづくり」、「古民家カフェ」、「女性用シェアハウス」、「アニメの聖地巡礼」などがあります。



## 平成28年度新規採択「科学研究費補助金にかかる研究内容の概要」

## 研究課題名「原発事故後を生きる有機農業者の生活再建と地域コミュニティ再生のエスノグラフィー」

観光コミュニティ学部 コミュニティデザイン学科 教授 靄 理恵子

私は、フィールドワーカーです。フィールド（調査地）と大学を往復し調査研究をやってきました。3.11の震災以降、被災地にとどまり暮らす人々の声を掬い取る研究の必要性を感じながらも、物理的な距離を前に、一歩が踏み出せずにいました。しかし、昨年度から本学に勤務となり、物理的距離という障害は解消、科研にも採択されました。

事故から5年が過ぎても被災者の生活はなかなか立て直せていません。一方、復興のかけ声は勇ましく、原発の海外輸出、原発再稼働、安全とされる数値を大きく引き上げてなされた住民への避難解除等、あの事故はなかったかのようです。

本研究の目的は、福島第一原子力発電所事故により生活を根底から破壊された有機農業者の生活再建と地域コミュニ

ティ再生過程に関するフィールドワークによりモノグラフを作成すると共に、フクシマ後の社会をどう生きるかという課題を被災地だけでなく現代日本社会の問題として捉え直すことにあります。

事故以前、過疎化、少子高齢化、農業を取り巻く厳しい状況の中ではあっても、有機農業を軸に組み立てられていた個々の生活および地域コミュニティが、事故により「根こぎ」となった状況の実相、そこから人々はどうやって、どのような生活再建、コミュニティ再生に向かおうとしているか、聞き取りを始めたところです。事故以前の暮らし、事故後失われたもの、取り戻そうとしているもの、それらをひとつながりに捉える視点が必要です。それなしに人々の生活再建、震災からの復興を考えることはできないと思います。

## 研究室訪問

観光コミュニティ学部 観光デザイン学科 教務 松坂 健

社会人になって四十数年。いっときも途切れなく続けてきたのは、趣味のミステリのコレクション（蔵書3万5000冊ほど）と映画鑑賞ですが、仕事としては、あらゆるタイプのホスピタリティビジネスの現場取材です。

その領域は専門のホテル・旅館・テーマパーク・プライダルだけではなく、外食産業、小売りのチェーンストア、ショッピングセンターづくりまで多岐にわたります。取材対象も財界人から現場のアルバイトまで多彩で、人に会うことを仕事としてきました（ちなみに毎年、年賀状を2000枚出しています）。

ですから、わたしの研究はホスピタリティマネジメント全般にわたるのですが、長い間、やっているうちに、興味はお客起こしとしてのマーケティングから、どうしたら人にサービスする仕事が快適に、人生の意義として豊かになるか、要するにハッピーにすることができるか、人間を中心にしたテーマに偏ってきました。

この10年はお客に好感を与えることのストレスをどうマネジメントするかをテーマとする「感情労働」、ホスピタリ

ティマインドをどうしたら自分の中で育てられるか、答えを出すのが難しい問題を考える教育手法としての「ケースメソッド」、そしてこの直近3年間は、ホテル・旅館を含むあらゆるサービス産業に必要と思われる日本では新しい職種、「コンシェルジュ」の活動形態、資質などの総合的研究に没頭し、文科省の要請に従って、講座「コンシェルジュ論」のテキスト編纂、テキスト解説補助教材作成、コンシェルジュとしての資質を磨くカリキュラム構築などをまとめました。

わたしは2017年度から、3年生向けの観光デザイン演習を開講しますが、上記のようなわたし自身の研究成果を踏まえ、ホテル・旅館・テーマパークで、心豊かに働くために、何をどう考えたらいいか、ゼミ生のみなさんと、ここでも現場取材を軸に一歩でも二歩でも具体的な提案がまとめられるよう努力するつもりです。そして、わたしの前職、経営専門誌の編集長時代を思いおこし、研究室を編集部化して、できれば成果を雑誌形式にまとめたいと考えています。もっとも、これはゼミ生たちの熱意次第なのですが。

## 学術情報！(本の紹介)

観光コミュニティ学部 観光デザイン学科 教授 塩月 亮子

植松明石監修 民俗文化研究所奄美班編 『奄美の人・くらし・文化—フィールドワークの実践と継続—』論創社 2016年

本書は多くの点で稀有といえます。まず、サブタイトルに「フィールドワークの実践と継続」とあります。「フィールドワークの実践」に関する著書は多数ありますが、38年の長きにわたる「継続」は、並大抵ではできないことです。しかも、その主な筆者が研究者ではなく、本学の元学生さんたちであると知れば、驚きを禁じ得ないでしょう。

本書を監修されたのは、かつて本学文学部文化学科で民俗学の教鞭をとられていた植松明石先生です。植松先生は、同僚で文化人類学者の渡邊欣雄先生と共同で、1977（昭和52）年からゼミ生に対し奄美大島での調査をご指導なされ、それは1985（昭和60）年まで9年間続けられました。渡邊先生によれば、民俗学と文化人類学との共同実習は稀有であり、このような試みは他大学ではいまだに見られないとのこと。

さらに、調査当初は明治生まれの方からお話をうかがったと

いうことで、それらの資料は学術的にも非常に価値のあるものです。しかしそれ以上に、当時の生き生きとした学生さんたちの調査ぶり、そしてその30年後、貴重な資料をそのまま眠らせておくのはもったいないという思いから、奄美で調査を再開された元学生さんたちの意欲的な姿は、本書の大きな魅力となっています。

植松先生のように元学生さんたちを退職後もずっと指導し続け、元学生さんたちもそれに応えるということは本当に稀なことです。

「研究は一生継続するもの」。本書にある植松先生のお言葉、そしてそれを誠実に実行してきた元学生さんたちに、私たちは改めて大学での学びの意味、および自分の今後の生き方を教わることでしょう。



## 平成29年度 大学入試日程

### 入試の主な変更点

- ◆AO入学試験を「AO入試」「AO入試(英検型)」「AO入試(講義型)」の3種類に増やします。
- ◆跡見校友子女推薦入試の入学金を半額免除にします。
- ◆一般入試A方式を1月中に2回(連続する2日間)実施します。  
2回受験する場合には、検定料を割引します。(検定料35,000円。2回目は15,000円⇨20,000円の割引。)
- ◆一般入試C方式を新設し、国語・英語のうち1科目を選択し受験できるようにします。
- ◆センター試験利用入試を3回実施し、同一期に複数学部(2学部)出願することができます。  
2学部出願する場合には、検定料を割引します。(検定料15,000円。2学部目は5,000円。⇨10,000円の割引。)

【大学】全学部全学科共通 ※詳細は平成29年度入学試験要項にて確認してください。

入試方式		出願方法	出願期間(締切日消印有効)	試験日	試験科目・選抜方法	合格発表日	
推薦入試	公募推薦入試	11月期	郵送のみ	平成28年10月26日(水)～11月4日(金)	平成28年11月12日(土)	書類審査、面接	平成28年11月17日(木)
		12月期	郵送のみ	平成28年11月24日(木)～12月2日(金)	平成28年12月11日(日)		平成28年12月15日(木)
	3月期A日程	郵送	平成29年2月13日(月)～2月24日(金)	平成29年3月2日(木)	書類審査、面接		平成29年3月5日(日)
		窓口	平成29年2月27日(月) 10:00～16:00				
	3月期B日程	郵送	平成29年2月23日(木)～3月6日(月)	平成29年3月11日(土)			平成29年3月14日(火)
		窓口	平成29年3月8日(水) 10:00～16:00				
跡見校友子女推薦入試	郵送のみ	平成28年10月26日(水)～11月4日(金)	平成28年11月12日(土)	平成28年11月17日(木)			
AO入試	AO入試	11月期	郵送のみ	平成28年10月31日(月)～11月9日(水)	出願後、面接・試験はありません。	課題レポート*1、面接	平成28年11月17日(木)
	AO入試(英検型)	12月期	郵送のみ	平成28年11月28日(月)～12月7日(水)			平成28年12月15日(木)
	AO入試(講義型)	郵送のみ	平成28年11月28日(月)～12月5日(月)	平成28年12月11日(日)	レポート、面接	平成28年12月15日(木)	
一般入試	A方式	郵送	平成29年1月3日(火)～1月13日(金)	平成29年1月22日(日) 平成29年1月23日(月)**2	国語、英語、地歴・公民、数学から2教科にわたり2科目	平成29年1月26日(木)	
		窓口	平成29年1月16日(月) 10:00～16:00				
	B方式	郵送	平成29年1月10日(火)～1月30日(月)	平成29年2月5日(日)	国語および英語、2科目	平成29年2月8日(水)	
		窓口	平成29年2月1日(水) 10:00～16:00				
	C方式	C1方式	郵送	平成29年1月30日(月)～2月13日(月)	平成29年2月20日(月)	国語・英語の内から1科目選択	平成29年2月23日(木)
			窓口	平成29年2月15日(水) 10:00～16:00			
		C2方式	郵送	平成29年2月13日(月)～2月24日(金)	平成29年3月2日(木)		平成29年3月5日(日)
			窓口	平成29年2月27日(月) 10:00～16:00			
	大学入試センター試験利用入試	I期	郵送	平成29年1月3日(火)～1月30日(月)	大学入試センター試験 平成29年1月14日(土) 平成29年1月15日(日)	2教科2科目を選択	平成29年2月8日(水)
			窓口	平成29年2月1日(水) 10:00～16:00			
II期		郵送	平成29年1月30日(月)～2月15日(水)	1科目を選択		平成29年2月23日(木)	
		窓口	平成29年2月17日(金) 10:00～16:00				
III期		郵送	平成29年2月15日(水)～3月6日(月)	1科目を選択		平成29年3月14日(火)	
		窓口	平成29年3月8日(水) 10:00～16:00				
特別選抜入試	帰国生・社会人入試	郵送のみ	平成28年10月26日(水)～11月4日(金)	平成28年11月12日(土)	面接	平成28年11月17日(木)	

※1 英検型は不要

※2 学外試験会場(仙台・新潟・水戸・宇都宮・高崎・千葉)あり

【大学院】全研究科全専攻共通 ※詳細は平成29年度入学試験要項にて確認してください。

入試方式	出願方法	出願期間 郵送(締切日消印有効)	試験日	試験科目・選抜方法	合格発表日
一般・社会人[後期試験]	郵送のみ	平成29年1月26日(木)～2月6日(月)	平成29年2月11日(土・祝)	平成29年度入学試験要項にて確認してください。	平成29年2月14日(火)

## 資料館コレクション

### ブレイズ・サンドラール

ヘンリー・ミラー(1891-1980)作

昭和55(1980)年 リトグラフ

ヘンリー・ミラーは、『北回帰線』(1934)をはじめとする一連のスクランダラスな文学作品で知られるアメリカの小説家ですが、1927年頃から水彩画に手を染め、亡くなるまで(1980)に数千にのぼる水彩作品を残しています。

「パリ滞在中に会った最初のフランス人作家」(ミラー)ブレイズ・サンドラールが、本図のタイトルになっています(画面右中ほどにBLAISE CENDRARSの文字)。実際にはスイス出身のサンドラール(1887-1961)は、パリでの放浪の体験を赤裸々に綴った『北回帰線』刊行後、いちやく賞讃の一文を発表した作家です(これはミラーの文業を評価する最初の文章でもありました)。

画面上部に書きこまれたMORAVAGINEの文字もサンドラールに関わるものです。これは、サンドラールの小説『モラヴァジーヌ』(1926)に登場するハンガリア王家最後の皇子(モスクワからサン・アントニオ、アマゾンまで不断に世界を駆け巡る冒険者)の名前であり、その下の大きな目を持つ横顔の人物はモラヴァジーヌその人にちがいません。じつのところ、ミラーは『モラヴァジーヌ』の熱烈な愛読者の一人で、上記『北回帰線』にはこのモラヴァジーヌをさりげなく登場させている部分があります。

一見すると稚拙とも思える作品ですが、自由奔放な形象や色使い、水彩特有の透明な色の重なりや滲みには独特の魅力がそなわっていると言えるでしょう。本作はリトグラフ版です。日本ヘンリー・ミラー協会初代会長、旧跡見短大学長久保貞次郎氏の寄贈作品。ちなみに本年(2016)はミラー生誕125年という記念的な年にあたっています。(花蹊記念資料館館長 村田宏)



## ◆ 行事予定 ◆

10月	1日(土)	秋学期通常授業開始
	1日(土)、3日(月)~5日(水)	秋学期1次履修登録申請期間
	8日(土)、10日(月)	秋学期2次履修登録申請期間
	10日(月)	通常授業実施日
	13日(木)~14日(金)	履修登録訂正期間
11月	3日(木)	通常授業実施日
	4日(金)	紫祭準備日
	5日(土)~6日(日)	紫祭
	7日(月)	紫祭後片付日
	23日(水)	通常授業実施日
12月	23日(金)	通常授業実施日
	27日(火)~1月8日(日)	冬季休業
1月	8日(日)	創立記念日
	10日(火)	通常授業開始
	14日(土)~15日(日)	大学入試センター試験(休講)
	24日(火)~28日(土)、30日(月)	授業評価期間
	31日(火)~2月4日(土)、6日(月)	秋学期定期試験期間
2月	7日(火)~8日(水)	秋学期定期試験予備日・追試験日
	9日(木)~28日(火)	補講期間(集中講義等あり)
3月	1日(水)~31日(金)	春季休業 (集中講義・学生面談等あり)
	4日(土)	卒業・修了発表
	10日(金)	進級発表
	18日(土)	卒業式

## 「今」女子大生が読みたい本とは!?

平成28年6月9日、新宿紀伊国屋書店本店で図書館ボランティアがブックハンティングを行いました。ブックハンティングとは、図書館に置く本を、学生がグループで書店に出向き、実際に本を手に取りながら、学生の視点で選んでくる選書ツアーの事です。4年目になる今年も、各自書店内を歩き回り、入門書から専門書、実用書、今話題の小説など幅広く選書してくれました。実際に書店に出向く事で、初めて出会った本もあり、またイメージしていた欲しかった本との出会いもありました。

選書された本は、館長のご了解を得て、図書館の特設コーナーで、学生自身によるPOPを加え、展示をしています。



## ● 編集後記 ●

8月、台風の被害が日本各地に広がりました。新座キャンパスの一部にもその影響は及びましたが、幸い大事には至りませんでした。今は秋! そんな大荒れの夏が過ぎ10月1日から秋学期がはじまりました。気持ちも新たにがんばって参りましょう!

## 文京キャンパス 教室プロジェクターが 新しくなりました!

今夏、情報メディアセンター情報サービス課では、今年度リプレイス事業のひとつとして、文京キャンパス2号館12教室のプロジェクターシステムをリニューアルいたしました。

新たに設置しました最新式のプロジェクターで、秋学期からの授業では、これまでより、より明るく、より鮮やかな投影画面をご体感ください。